

えっ! こんな物が...

資源として回収したプラスチックの中に、いろいろな物が混ざっています。

リサイクル工場では...



ペールはリサイクル工場に運ばれ、再び異物を取り除いた後、1cm程の粒状の製鉄原料に加工されます。再生された原料は製鉄所で高炉還元剤として利用されます。

※リサイクルには、建設資材などのプラスチック製品にする方法もありますが、今年度は入札により江戸川区の資源は高炉還元剤としてリサイクルします。

※高炉還元剤とは、鉄鉱石から鉄を取り出すために、コークスの代替品として製鉄所で利用する原料です。



資源として出された容器包装プラスチックは1日約11トン、清掃車約34台分になります。



中間処理施設に運ばれた容器包装プラスチックは手作業により、汚れたものや資源にならない異物を取り除かれます。



異物を取り除いた資源は、機械で圧縮した後、1メートル角に梱包し保管します。(この梱包したものをペールといいます。)

回収した資源の約10%が異物として取り除かれます。



一日で平均60kg、本数にすると500mlのペットボトル約2600本分が混ざっています。

わずか数日で乾電池やライターがコンテナ一杯になります。



異物として選別されたものは、適正に処分するために清掃工場や不燃ごみ処理センター等に運搬し直すことになり、無駄な費用が発生します。

資源の中間処理施設とは?

資源の中間処理施設は、リサイクル事業者へ資源として引き渡せるように、回収された資源から異物を取り除く作業をする施設です。

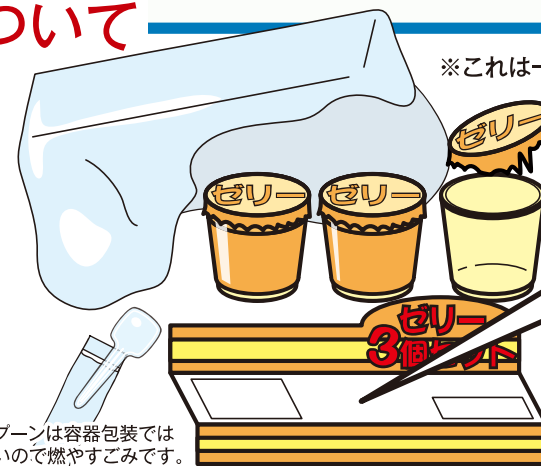
区内には容器包装プラスチックだけでなく、古紙、びん・缶、ペットボトルの品目ごとに中間処理施設がそれぞれあり、手作業での選別が行われています。

一方で、燃やすごみにはまだまだ資源にできそうな、容器包装プラスチックが混ざっています。少量の汚れならば、洗って汚れを落とし、資源として出してください。

少しでも良質の資源にするためには、何よりも排出するときの家庭での分別が重要になります。皆様のご協力をお願いします。

商品への表示について

プラマークは、それぞれの部分に表示されている場合と、1カ所にまとめて表示されている場合があります。1カ所にまとめて表示されている場合は、どの部分が容器包装プラスチックなのか、プラマークの横や下に記載されています。



※これは一例です

- ♻️ : カップ
- ♻️ : 外装フィルム
- ♻️ : スプーンの袋
- PE, PP
- 📄 : 台紙
- アルミ : ふた

カップ、外装フィルム、スプーンの袋が容器包装プラスチックであることを表示しています。

プラスチックの材質を表示していますが分別には関係ありません。

紙製なので雑誌にはさんで資源に出せません。

ふたはアルミでできていることを表示していますので燃やさないごみになります。

※スプーンは容器包装ではないので燃やすごみです。

プラスチックを資源として出すときは、次の3点を確認してください。

- ・プラマークがある
 - ・汚れがついていない
 - ・銀色の部分がない
- 例) 冷凍食品の袋などで、内側がアルミコーティングのもの

